



市民が団結して立ち向かった 吉祥寺本町「近鉄裏」浄化運動

「突然、あやしい風俗店が一気に増え
てしまったのです」と、近藤さんが回想
するように、近鉄百貨店が開店してか
らわずか2年の間に風俗店が乱立し、

「昭和30年代の吉祥寺本町の駅周
辺地域は小さなお店と住宅やパー
トがたくさんあり、路地には子ども
たちが走り回っていましたよ」
こう語るのは吉祥寺東部地区街づく
り協議会の会長を務める近藤溪子さ
り始めたのは昭和46（1971）年のこ
と。吉祥寺駅南口の末広通りと五日市
街道を結ぶ吉祥寺大通りが開通しま
した。昭和49（1974）年には通り沿
いに近鉄百貨店がオープン。現在のヨド
バシカメラの場所です。百貨店の東側の
地域は、大通りからは死角になり、「近
鉄裏」と呼ばれるようになりました。

「ストリップ劇場の進出は食い止めたも
の、なお90軒におよぶ風俗店があり、
昭和50年代半ばには3つのラブホテル
が建設を開始。市民委員会は、事業者

その街の移り変わりの速さに地元住民
は対応できない状態でした。
風俗店を一掃するために立ち上がった
のは市全域の住民でした。昭和51
（1976）年にストリップ劇場が開店
するという情報が入ると、PTAや市
議会議員などが店を監視し、わいせつ
なショーを行った現場に踏み入って営業
を差し止めました。この時期に結成さ
れたのが環境浄化推進市民委員会だ
です。会員は、地域のPTAや本宿地区
青少年問題協議会、町会、有志の個人
です。長年、事務局を務めてきた原利
子さんは、「地域の人たちが抗議する
と逆に嫌がらせを受けます。全市的な
問題としてとらえ、表向き本町外の住
民が事業者に対抗する体制を整えた
のです」と結成の理由を語ります。

百貨店が生んだ死角に 突如現れた風俗街

武蔵野 History

武蔵野にまつわる歴史を
楽しみながら学ぶ

昭和40年代の終わり、大手百貨店が次々と進出し、吉祥寺は大きく
変貌を遂げていきます。若者文化が盛り上がり、商業地としての魅
力が増す一方で、近鉄百貨店（当時）の裏手には新宿・歌舞伎町にも
並ぶと言われた一大歓楽街が形成されていきました。現在の街並みか
らは想像がでない悪化していったのは市民でした。

むさしの今昔物語 ～「近鉄裏」40年の移り変わり～

戦後、吉祥寺本町の駅周辺地域では小さな商店が多かったが、昭和40年代半ばから店舗として賃貸を始め、風俗店が次々を進出。

昔



昭和61年当時の「近鉄裏」の地図。風俗店がひしめき、客引きや女性店員の勧誘が横行し、女子大生が店で働くよう無理やり誘われる被害も発生。成田空港に着いた外国人でもタクシーで「キンテツウラ」と言えば通じるほどの歓楽街だったといえます。

今



市民委員会は、市や警察に防犯カメラの設置や取り締まりを積極的に訴えかけました。今では、風俗店は数軒ほどにまで減りましたが、依然、監視は必要だといえます。現在も14台のカメラが稼働し、市民の安全を見守っています。

こそ吉祥寺本町地域には明るいまちづくりが大切だと語ります。

「若い人たちが小さくても元氣な店を開き、働くママたちが子どもを預けられる施設、医療施設ができれば風俗店も出ていくでしょう」(近藤さん)

「吉祥寺本町地域は駅に近くて利便性が高いので、人気のエリアになるはず。浄化運動は、このエリアが、良質なにぎわいを取り戻したときに完了するでしょう。」(原さん)

「法律的な裏付けがなければ、何もできないと痛感しました。そこで、市民による条例制定の直接請求運動が始まったのです」(原さん)

昭和57(1982)年11月、市民委員会と市民は、法律専門家の協力を得ながら「風俗産業公害に関する条例案」を作成し、約1万名の署名とともに武蔵野市に直接請求を行いました。市議会では、議員任期満了に伴い審議未了、廃案となったものの、昭和58(1983)年10月に市長提出の

と交渉し、ビジネスホテルとして営業をする約束を取り付けましたが、約束は継続されませんでした。

市民の働きかけで制度を整え
風俗店の新設を許さない



昔のパトロール
活動の最盛期には市民委員会の会員は150名に。横断幕を広げ、環境浄化推進をアピールしました。



近藤漢子さん
PTA活動を皮切りに浄化運動に参加し、今も東部地区の街づくりに熱心に取り組む。



今のパトロール
平成22年から歳末特別環境浄化推進パトロールが復活。各団体の代表が市民の安全のためにパトロールを実施しています。



原利子さん
環境浄化ニュースの編集も担当し、30年以上にわたり運動の情報を発信し続けてきた。

議案として「武蔵野市環境浄化に関する条例」と「武蔵野市旅館・レンタルルーム規制条例」が可決、翌年施行され、ホテルの新規建設を事実上禁止する地区が指定されました。

その後、市民委員会とPTA、青少年問題協議会は、図書館新設要望団体とも連携を取りながら図書館の設立運動を始めました。「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」では、文化施設から200m以内では風俗店を新設できない規制があり、これをこの地域に適用するためです。合計11件の請願書が市議会に提出され、昭和62(1987)年11月、吉祥寺図書館の開設に至りました。その後、活動の効果と景気の後退もあり、風俗店は減少していきました。

近藤さん、原さんは異口同音に、今こそ吉祥寺本町地域には明るいまちづくりが大切だと語ります。